

平成26年度当初予算 各部包括予算編成状況

| 部 | 予算編成方針 | 予算要求額の状況(千円) | | |
|-------|--|--------------|-----------|-----------|
| 政策経営部 | <p>共通基盤の構築 平成24年度・25年度においてシステムの共通基盤の構築を進め、25年6月にはコンビニでの証明発行システムを稼動した。個人番号制度の対応やシステムの再構築を計画的に進め、区民サービスの向上と業務の効率化を図っていく。</p> <p>広報紙の電子ブック化 26年度は試行版としてキーワード検索やしおり機能等を備えた電子ブック(電子書籍)化を行い、スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末における閲覧機能を高めていく。</p> <p>大学連携推進事業 限られた予算の中で最大限の効果を上げるため、五大学と各所管との連携を支援し、推進する。</p> <p>個人情報保護・情報公開事務 開示請求の件数増、不服申し立て等への対応など、「審議会・審査会」の事務量増も見込まれる。個人番号制度の導入に伴い、必要となる条例改正や特定個人情報保護評価については、国等の動向を注視しながら適切に対応していく。</p> | 歳入 | 配分財源 | 2,387,301 |
| | 特定財源 | | 90,818 | |
| | 計 | | 2,478,119 | |
| | 歳出 | 要求額(事業費) | 2,478,119 | |
| | | 前年度当初予算額 | 2,341,466 | |
| | | 対前年度増減額 | 136,653 | |
| 総務部 | <p>ビューティフル・ウィンドウズ運動の下、治安再生アクションプログラムを拡大実施し、25年は刑法犯認知件数9,000件未満及びワーストスリー脱却を達成する見通しであるが、26年は同8,000件未満及びワースト圏からの離脱を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託による防犯パトロール事業を継続実施するとともに、新たな区民青色防犯パトロール隊員の拡充を図る。 ・25年度中に1,000台を突破する街角防犯カメラ普及事業は、補助対象を見直し、町会・自治会向けを重点に実施する。 <p>足立区地域防災計画の減災目標「死者をなくす」に向け、災害に備える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に最も死傷者数が多いと想定される要援護者の避難対策に重点的に取り組む。 ・これまで実施した各種訓練内容を検証・改善し、さらに実戦化を進めるとともに、防災区民組織への資機材配備を強化し、区民防災力のさらなる向上を図る。 ・主要駅の帰宅困難者の安全確保を図る。 ・拠点倉庫及び避難所用備蓄品の買い替えを進め、災害時における応急対応力を高める。 <p>外部化推進に対応する人事・研修制度を確立し、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門定型業務などの外部化を推進し、少数精鋭による組織運営を進めるための研修制度を構築・実践し、職員の専門知識を深めると共に職務意欲を高める。 ・高度な政策立案・形成能力を備えた職員の育成を図る。 ・蓄積された専門知識をさらに活用するため、異動基準の柔軟な運用によりスペシャリストの育成を図り、安定した業務体制の確立を図る。 <p>多様化・複雑化する法律案件に適切に対処するための環境を整える。</p> | 歳入 | 配分財源 | 800,617 |
| | 特定財源 | | 90,505 | |
| | 計 | | 891,122 | |
| | 歳出 | 要求額(事業費) | 903,949 | |
| | | 前年度当初予算額 | 969,622 | |
| | | 対前年度増減額 | 65,673 | |

| 部 | 予 算 編 成 方 針 | 予算要求額の状況〔千円〕 | |
|---------------|--|--------------|------------------------|
| 資産 管理 部 | <p>営繕事務の見直し 各施設主管部で計上していた施設営繕費のうち改修に係る経費を一元化し、営繕担当課で予算計上した。これにより、施設主管部要望だけではなく、保全情報システムの更新周期や技術的視点を加えて工事を選定し、実施していく予算編成が可能となった。同時に、科目の一元化により予算の有効活用を図り、施設の長寿命化を目指す計画保全への第一歩を踏み出す。</p> <p>公有財産の有効活用と歳入確保 財産の有効な売却・貸付を行うため、費用対効果を勘案しつつ、必要経費を適切に見積もり予算計上した。また、大規模普通財産について、民活手法の導入や適正評価など、資産状況に合わせたより効果的な活用手法を調査・実施するための予算を計上した。</p> <p>本庁舎関連経費 本庁舎運営においては、館内放送等による節電の周知を徹底し持続的な節電対策に努めるとともに、機器の入替え時は積極的に省エネ仕様にする等引き続き対策を図っていくが、燃料費価格の上昇が続いていることを考慮し必要な予算を計上した。</p> <p>施設使用料の見直し及び施設駐車場の有料化について、平成26年度の実施に向け、検討を行っている。今回の見直しにより、受益者負担の適正化や区民負担の公平性の実現を目指す。</p> | 歳 入 | 配分財源 941,854 |
| | | | 特定財源 95,113 |
| | | | 計 1,036,967 |
| | | 歳 出 | 要求額 (事業費) 1,036,967 |
| | | | 前年度当 初予算額 945,749 |
| | | | 対前年度 増減額 91,218 |
| 区 民 部 | <p>区民部内では、戸籍住民課と国民健康保険課の外部化が進捗している。それぞれ円滑な導入に向け、万難を排して取り組むべく重点的に予算を配分した。戸籍住民課と中央本町区民事務所は、部をまたぐ統合となるため予算の移行などをスムーズに行うとともに、効率的な窓口体制を確立したうえで、外部資源を最大限活用することにより区民サービスの向上を図る。今後は、更なる外部化について検討していく。</p> <p>税の公平性・公正性を確保するため、平成26年度から新たに「遠隔地の税滞納者調査」の一部を委託するとともに、実績を実証することにより、全庁的に展開できるか検討していく。</p> <p>滞納者への電話・訪問納付勧奨業務を平成25年度から委託し、納付約束の履行監視や電話が繋がる時間帯等の分析をはじめ、効果的な勧奨を進めている。今後は、徴収体制全体を見直し更に徴収を強化していく。</p> <p>引き続き、各種証明書のコンビニエンスストア交付サービス及び住民基本台帳カードの普及を促進する。</p> <p>ジェネリック医薬品の利用促進策を更に強化するための経費を計上した。</p> <p>足立区における住居表示は、平成13年を最後に行われていないため、千住緑町一丁目の住居表示を実施するにあたっては、民間事業者のノウハウを活用できるよう、コンサルタント業務も含めた委託経費を計上した。</p> | 歳 入 | 配分財源 198,623 |
| | | | 特定財源 482,342 |
| | | | 計 680,965 |
| | | 歳 出 | 要求額 (事業費) 680,965 |
| | | | 前年度当 初予算額 575,080 |
| | | | 対前年度 増減額 105,885 |

| 部 | 予算編成方針 | 予算要求額の状況〔千円〕 | |
|-----------|--|--------------|--------------------|
| 地域のちから推進部 | <p>【基本方策】 地域のちからの原動力である町会・自治会への支援を継続するとともに、地縁のない人には孤立ゼロプロジェクトや様々な講座イベントなどを通じて地域とのつながりをつくり、地域のサークル活動などに参加している人には、地域課題への取り組みへの参画を促していく。</p> <p>孤立ゼロプロジェクト推進事業の実態調査の拡大</p> <p>地域課題への取り組みに向けた参加を促すアプローチ ～様々な世代に対する地域のちから推進への事業展開～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住区 de 団らん事業の全館実施と高齢者の居場所づくり ・子育てサロン事業の充実と子育て世代の孤立の防止 ・地域学習センターでのサロン型事業など参加者同士の交流を促す事業の実施 ・パークで筋トレ・ウォーキング教室を拡充し、孤立対策へも寄与 ・「ごみゼロ地域清掃活動」の拡大実施と「ビューティフル・パートナー」普及活動 ・地域課題解決に向けた情報発信のできる図書館へのスキルアップ <p>町会・自治会への加入促進と地域活動の新たな担い手との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所運営訓練アピール実践事業の推進とマンション町会・自治会加入促進事業の展開 ・あだち皆援隊の育成と地域課題解決の支援員としての地域とのマッチング強化 | 歳入 | 配分財源 5,418,863 |
| | | | 特定財源 700,230 |
| | | | 計 6,119,093 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) 6,119,093 |
| | | | 前年度当初予算額 6,089,318 |
| | | | 対前年度増減額 29,775 |
| 産業経済部 | <p>景気回復を確かなものに ～意欲ある区内中小企業を応援～ 制度融資の予算額を充実 一部条件を優遇して25年度から実施している既存の制度融資の活用を促す。 販路開拓・拡大に向けた取り組みの支援を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種展示会、見本市等への出展意欲を支援するため、出展助成を拡充 ・東京丸の内JPタワー内「KITTE」(キッテ)に出展する等、あだちブランド認定企業の出展機会を拡大 ・トライアル発注商品認定制度をスタート <p>就労支援の強化 生活困窮自立支援(平成27年度法制化見込み)のための取り組みを強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者就労準備支援委託事業を新たに開始 ・若年者就労準備支援委託事業を強化し、生活困窮者自立支援向けのスタッフを増員 <p>国の緊急雇用創出事業(重点分野)の活用により実施してきた、高校生・非正規雇用にある若者が対象の事業を、区事業として継続</p> <p>商店街装飾街路灯LED化の推進 商店街装飾街路灯の老朽度調査の結果も踏まえながら、街路灯建替え時のLED化、LEDランプへの付替えを推進</p> | 歳入 | 配分財源 1,188,729 |
| | | | 特定財源 332,793 |
| | | | 計 1,521,522 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) 1,668,794 |
| | | | 前年度当初予算額 1,667,295 |
| | | | 対前年度増減額 1,499 |

| 部 | 予 算 編 成 方 針 | 予算要求額の状況〔千円〕 | |
|-------------|--|--------------|-------------------------|
| 福 社 部 | <p>将来世代にわたって持続可能な、バランスのとれた福祉サービスを目指した予算編成を行う。</p> <p>高齢者が地域で元気に暮らし続けられるしくみづくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画に基づき、介護サービスの基盤整備を計るとともに、介護予防を推進し、高齢者ができる限り自立した生活が送れるよう様々な支援をしていく。 ・介護サービスの質の向上のため、介護サービス事業者との協働体制の強化や研修の充実を図っていく。 <p>障がい者と家族が地域で安心して暮らし続けられるサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者計画や第3期障がい福祉計画の目標達成に向け、引き続き相談支援体制を充実させ、ニーズを把握し、必要なサービスの提供と質の向上に努める。 ・障がい者の日中活動の場の確保に重点を置き、需要数の精密な推計に基づいて通所施設の整備を進め、障がい者の地域生活への移行を促進させる。 <p>生活保護の適正実施推進と、稼働能力のある被保護者への就労支援の強化を図る。</p> | 歳 入 | 配分財源 10,629,710 |
| | | | 特定財源 2,104,372 |
| | | | 計 12,734,082 |
| | | 歳 出 | 要求額 (事業費) 12,734,082 |
| | | | 前年度当 初予算額 13,308,434 |
| | | | 対前年度 増減額 574,352 |
| 衛 生 部 | <p>「足立区糖尿病対策アクションプラン」に基づき、糖尿病対策事業を重点施策として進めていく。関連する食育推進事業、歯科保健事業を効果的に取り入れ、糖尿病を重症化させない取り組みを推進していく。</p> <p>予防接種事業については、国等の動向を注視しながら情報を確実に入手するとともに、適切に事業を実施していく。</p> <p>組織の再編及び事業の外部化の検討を進め、保健衛生行政全体の再構築を目指す。</p> | 歳 入 | 配分財源 3,591,404 |
| | | | 特定財源 2,220,824 |
| | | | 計 5,812,228 |
| | | 歳 出 | 要求額 (事業費) 5,812,228 |
| | | | 前年度当 初予算額 5,698,589 |
| | | | 対前年度 増減額 113,639 |

| 部 | 予 算 編 成 方 針 | 予算要求額の状況(千円) | | |
|-----------------------|--|--------------|------|-----------|
| 環 境 部 | <p>第二次環境基本計画改定版の目標数値を達成するための施策を進め、環境都市像の具体化に向けた取り組みを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光設置補助(創エネ)、環境配慮型機器等購入補助(省エネ)など各種補助金制度を見直し、さらに効果的で創エネ・省エネ活動に取り組みやすい制度とする。 ・「地球にやさしいひとのまち」のさらなる推進のための方策を検討する。 <p>成長に応じた環境学習の機会を充実させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基金の助成対象となっている大学等との連携を進める。 ・幼児や小学生を対象にした既存の事業に加え、中学・高校生を対象にした新たな事業を展開する。 <p>資源の有効活用とごみの減量を進める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃えないごみや粗大ごみの資源化をさらに進めるとともに、事業者への指導を強化し、資源化率の向上とごみ量の減少をめざす。 ・集団回収モデル事業の検証結果を踏まえ、安定的かつ継続的な資源回収の仕組みづくりを進める。 <p>生活環境の保全対策を強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進課に不法投棄に関する総合窓口を置き、区民にわかりやすい体制を整える。 ・不法投棄や資源持去りが多発する場所に防犯カメラ等を設置する。 ・ごみ屋敷状態等を改善するための対策を引き続き展開していく。 | 歳 入 | 配分財源 | 5,453,845 |
| 特定財源 | 684,806 | | | |
| 計 | 6,138,651 | | | |
| 歳 出 | 要求額 (事業費) | 6,138,651 | | |
| | 前年度当初予算額 | 6,220,265 | | |
| | 対前年度増減額 | 81,614 | | |
| 都 市 建 設 部 | <p>災害に強いまちづくり</p> <p>首都直下地震に備え、老朽化が進む区営住宅の更新や、復興税を活用した建築物・橋りょうの耐震化、公園への防災対策設備の設置に取り組むほか、9月に公表された「地震に関する地域危険度測定調査」の結果を踏まえ、密集地域の整備や細街路の整備など、危険度の高い地域への減災対策を推進する。</p> <p>安全安心に暮らせる環境整備</p> <p>ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するとともに、安全な通行を確保するための道路ストック調査や、道路の不正使用に対する指導、駅周辺の自転車の放置対策に継続的に取り組み、すべての人が安全安心に暮らせる生活環境の整備を図る。</p> <p>協働による自然環境づくり</p> <p>パークイノベーションの推進により、画一的な公園整備からの転換を図るとともに、緑の普及啓発事業(緑のカフェ、緑のカーテン、緑のサポーター)の改善に取り組むことにより、身近な自然や緑に親しむ区民の参加を促し、協働による自然環境の保全を図る。</p> <p>維持管理経費の削減と適正な維持管理</p> <p>電気料金の高騰や、労務単価及び消費税率の改定に伴う不可避な増要因を踏まえ、街路灯・公園灯のLED化や指定管理者制度の更なる活用を進めるほか、今後、親水水路やカラー舗装の管理方法を見直すことにより、維持管理コストの縮減に努め、道路、公園等の適正な管理レベルを堅持する。</p> | 歳 入 | 配分財源 | 3,086,854 |
| 特定財源 | 3,170,476 | | | |
| 計 | 6,257,330 | | | |
| 歳 出 | 要求額 (事業費) | 6,257,330 | | |
| | 前年度当初予算額 | 5,745,882 | | |
| | 対前年度増減額 | 511,448 | | |

| 部 | 予算編成方針 | 予算要求額の状況(千円) | | | | | | | |
|----------|---|--------------|---|----------|------------|----------|------------|---------|------------|
| 会計管理室 | <p>会計管理業務の外部委託を導入するため、5か年を1クールとした計画のもと、初年度の経費を計上していく。</p> <p>現下の低金利の金融情勢にあって、安全性を踏まえつつ、より一層効率的な基金運用を行う。</p> <p>会計事務の可視化・標準化を進めることにより事務の効率化を目指し、あわせてミス防止に向けた会計事務担当者への実務研修を行っていく。</p> | 歳入 | <table border="1"> <tr> <td>配分財源</td> <td>72,465</td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>72,530</td> </tr> </table> | 配分財源 | 72,465 | 特定財源 | 65 | 計 | 72,530 |
| 配分財源 | 72,465 | | | | | | | | |
| 特定財源 | 65 | | | | | | | | |
| 計 | 72,530 | | | | | | | | |
| 学校教育部 | <p>基礎的学力の徹底習得 引き続き基礎的・基本的学力の定着を最重点課題として、民間教育事業者を活用した小学生基礎学習教室・中学生補習講座や、足立はばたき塾を継続して実施する。 また、個人への対応に主眼を置いた取り組みとして、授業に遅れが生じた児童に支援員が個別指導を行う制度を小学校に、中学1年生の数学嫌いを克服させる夏季勉強合宿を中学校で新たに実施する。 さらに、中学生の国語・数学・英語3教科の学力定着に向けて、教員の授業力アップを支援する教科指導専門員制度を創設する。</p> <p>体験学習等を通じた自己肯定力の強化 自然教室や放課後子ども教室の継続実施により、さまざまな文化や遊びを体験したり、異なる年齢層の人々と交流することで、子どもの自己認識力や自己肯定感を高めていく。</p> | 歳入 | <table border="1"> <tr> <td>配分財源</td> <td>10,332,392</td> </tr> <tr> <td>特定財源</td> <td>523,260</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,855,652</td> </tr> </table> | 配分財源 | 10,332,392 | 特定財源 | 523,260 | 計 | 10,855,652 |
| 配分財源 | 10,332,392 | | | | | | | | |
| 特定財源 | 523,260 | | | | | | | | |
| 計 | 10,855,652 | | | | | | | | |
| | | 歳出 | <table border="1"> <tr> <td>要求額(事業費)</td> <td>11,082,311</td> </tr> <tr> <td>前年度当初予算額</td> <td>11,067,935</td> </tr> <tr> <td>対前年度増減額</td> <td>14,376</td> </tr> </table> | 要求額(事業費) | 11,082,311 | 前年度当初予算額 | 11,067,935 | 対前年度増減額 | 14,376 |
| 要求額(事業費) | 11,082,311 | | | | | | | | |
| 前年度当初予算額 | 11,067,935 | | | | | | | | |
| 対前年度増減額 | 14,376 | | | | | | | | |

| 部 | 予 算 編 成 方 針 | 予算要求額の状況〔千円〕 | | |
|------------|---|--------------|----------|------------|
| 子ども家庭部 | <p>子どもの心身の健全な発達を支援するとともに、全ての子育て中の家庭が安心して子育てできる環境の整備を推進していく。</p> <p>子ども・子育て支援新制度実施に向けた対応 ・「足立区版子ども・子育て支援事業計画」の策定</p> <p>幼児教育から学校教育への滑らかな移行への対応 ・幼保小連携ブロック会議、体験給食等の実施 ・私立幼稚園における長時間保育実施及び満3歳児入園推進園に対する助成</p> <p>待機児童の解消や多様化する保育ニーズへの的確な対応 ・私立保育園及び公設民営保育園の新規開設及び定員増 ・認証保育所、小規模保育室、家庭福祉員及びグループ保育室の新規開設及び定員増</p> <p>ギャラクシティの集客力向上に向けたリピート促進対策 ・リピート促進及び体験プログラム等の企画検討、施設管理運営等</p> <p>子育てしやすい社会づくりに向けた幼稚園保育料無償化への対応 ・幼稚園に通う子の保護者に対する補助金額の見直し(第3子無償化、第2子半額補助)</p> <p>私立保育園及び認可外保育施設に通う園児の食物アレルギー事故防止対策 ・食物アレルギー児対応職員分の人件費加算の新設</p> <p>体験学習等を通じた自己肯定力の強化 ・大学連携事業(帝京科学大学及び東京電機大学連携事業の充実) ・あだち子ども百人一首大会</p> | 歳入 | 配分財源 | 11,943,500 |
| | | | 特定財源 | 5,009,335 |
| | | | 計 | 16,952,835 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) | 17,028,309 |
| | | | 前年度当初予算額 | 16,028,127 |
| | | | 対前年度増減額 | 1,000,182 |
| 選挙管理委員会事務局 | <p>増額要因を除いた経常3事業における前年度予算額の維持</p> <p>平成27年度執行予定の区議会議員選挙及び区長選挙の準備</p> <p>学校統合に伴う投票区域と投票所の変更</p> | 歳入 | 配分財源 | 18,566 |
| | | | 特定財源 | 1 |
| | | | 計 | 18,567 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) | 23,106 |
| | | | 前年度当初予算額 | 367,332 |
| | | | 対前年度増減額 | 344,226 |

| 部 | 予 算 編 成 方 針 | 予算要求額の状況(千円) | | |
|--------|---|--------------|----------|---------|
| 監査事務局 | <p>監査機能の充実 監査事務局職員は、資質の向上を図る観点から、専門性を高めるための各種研修会への積極的な参加や自己研鑽を通して、常にスキルアップに努めていく。 さらに、受講すべき研修の体系化並びにハードル化(必須化)を通して、一層の能力向上を目指す。</p> <p>指定管理者団体監査の充実 指定管理者が増加する中、監査実施施設の増を図り必要な監査機会を確保するため、専任職員に加えて、局内の監査担当全職員を活用し、監査を実施する。</p> <p>全庁的な事務改善の促進 過去5年間の監査結果の「注意事項」をわかりやすくまとめた「よくある間違い事例集」について、今後も適宜改定を加えとともに、掲示板への掲載等により、部内検査や日常的な事務改善での活用を促す。</p> | 歳入 | 配分財源 | 9,753 |
| | | | 特定財源 | 0 |
| | | | 計 | 9,753 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) | 9,753 |
| | | | 前年度当初予算額 | 9,703 |
| | | | 対前年度増減額 | 50 |
| 区議会事務局 | <p>示された包括予算枠を有効活用するよう、各事業に適正配分を行った。平成26年度は改選前年度にあたり、改選時に必要な事務の準備に取り掛かる。前回改選時の事務を参考に、遺漏のない準備を進めていく。 インセンティブは原則として使用せず、事業内の内部努力や精査により必要額を厳しく見積った。</p> <p>議員欠員分は細かく精査し、すべて減額する。</p> <p>各種単価等をさらに精査し、消費税増税分を吸収できるよう内部努力を重ねた。ただし、数量の多い区議会だよりの印刷単価は、単価増が見込まれるため、必要額を計上した。インセンティブは投入しない。</p> <p>委員会中継に関して、現状ではまだ各党派合意には至っていないため、当初予算に関連予算の計上は行わない。</p> | 歳入 | 配分財源 | 147,255 |
| | | | 特定財源 | 0 |
| | | | 計 | 147,255 |
| | | 歳出 | 要求額(事業費) | 147,255 |
| | | | 前年度当初予算額 | 150,612 |
| | | | 対前年度増減額 | 3,357 |